

# 大友かく子の 9月議会レポート 8/29~9/30

9月議会初日は傍聴席に初めてテレビカメラが入りました。7月の市内中学生の自殺を受けた報道のためです。重く受けとめて臨んだ議会でした。

## 大友の一般質問から

### 西東京市の **虐待対応** 市民もともに！

市内公立中学校に通う生徒さんの虐待による自殺を受け、議会初日に経緯と対策の報告があり、多くの議員が質問しました。

虐待の通告義務はすべての国民に課されており、学校も例外ではありません。「小学生なら間違いなく通告される事案だが、中学生ということ、日頃の様子等から虐待を疑う感度が鈍った」「事件が起こる前までの対応策を多面的に検証し、新たな対策を講じなければならないことを痛感。教職員の意識改革を確実に図る」との答弁でした。

一刻の猶予もありません。市民の感度も上げていかなくては！

### **泉小廃校** まであと半年！ なにもしないのですか？

7月初旬にやっと公表された就学希望校調査では、予想通り6割が指定校ではない保谷小を希望。それでも教育委員会は「予算も人手も指定校のみ」の姿勢です。約90人も受け入れる見込みの保谷小では、在校生も含めたケアが必要です。保谷小では学童クラブの定員超過対策の予定もなく、保護者には情報も届いていません。検討材料も示さないなんて絶対おかしい！！

### どうなる **庁舎統合** 田無へ？保谷へ？新たな地へ？

市は「庁舎の規模は2万㎡、建設コストは70億」と試算。10年後の統合をめざして昨年度から市民説明会も行われていますが、庁舎にどんな機能を持たせるのかは後回し…。ITの進歩や高齢化を見据えれば、大きな統合庁舎が本当に必要なのか疑問です。年度内には方針を固めたいようですが、このまま進めて本当に大丈夫でしょうか！？

### 変わる **東大農場** 知恵を絞り緑の確保に舵を切れ！

みどりと生物多様性の宝庫、東大農場。市民運動が実を結んだ2007年移転中止から7年が経過。市は地区計画の策定を急いでいます。桜並木は市へ移管、緑化の基準は市条例よりも高く設定されています。しかし、東大が売却するエリアを民間が取得すれば、住宅やビルが建つことは避けられません。8月下旬に開催された権利者向け説明会では「緑を残して！」と多くの発言がありました。

### 子ども子育て支援新制度 関連3議案にすべて反対

#### 幼稚園・保育園・学童クラブ どうなる？子どもの居場所！

注目の「子ども子育て支援新制度本格実施に向けた市の対応」。保育園も学童クラブも市独自の基準で高いレベルで運営されていますが、提案された条例案は国基準の通り。「既存の施設は現行の運営を維持向上することが法にも謳われているから心配ない。待機児解消には新規参入を促す必要があり、高すぎる基準は参入障壁になりかねない」。そんな理由に「はい。そうですね」とはとても言えません。

### 2013年度決算審査

子どもたちの未来と市民に軸足を置いたまちづくりへの期待を込めて予算に賛成しました。ところが、情報公開・市民参加とともに後退したため、一般会計の認定には反対しました。

### 市議会から国への 意見書など

大友が提案した意見書と決議が賛成多数で可決しました。

- 原発事故避難者の住宅支援に関する意見書 → 国へ提出
- セクシュアルハラスメント行為に対する決議 → 議長会へ提出

